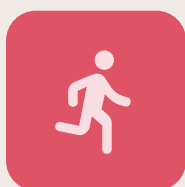


# 宮城県で100万人が使うアプリ

防災とくらしの、自治体公式スーパーアプリ



## ポケットサイン



# ポケットサインとは？

## 住民と行政・地域企業をアプリで結ぶ地域プラットフォーム

防災や地域ポイントなど、暮らしを支える多彩な機能を1つのアプリに集約します。

マイナンバーカードやマイナポータル API を活用することで、それぞれの住民に寄り添った、適切な通知配信やサービス提供が可能です。



※アプリ画面は本資料掲載バージョンに2025年7月以降、順次リニューアル

## ポケットサインの強み

### マイナンバーカードを とことんフル活用できる

※マイナンバー(個人番号)は取得しません

ポケットサインはスマホ JPKI への対応・マイナポータル API との連携など、最新のデジタル政策にいち早く対応。正確な情報を効率的に取得し、フルに有効活用できます。

### 柔軟な連携で みんなで育てられる

乱立している既存アプリやサービスを集約するだけでなく、ID やデータを連携させることも可能です。みんなで育てる地域アプリにできます。

### OpenID Connect で データ活用が可能

蓄積されたデータを様々なサービスと連携させられます。拡張性が高いため、いろんなサービスに応用できます。

# ミニアプリ一覧



## ポケットサイン 防災

避難所受付や避難指示など災害時の避難所運営を効率化

第11回 ジャパン・レジリエンス・アワード  
(強化大賞) 2025 にて「最優秀賞」を受賞



### 実証実験の結果（宮城県 2022.09）

|             |       |      |
|-------------|-------|------|
| 従来(紙)方式     | 10分   | 32人  |
| 防災アプリ(QR)方式 | 2分12秒 | 100人 |

➡ 約14倍の受付スピード

実証実験の  
動画を見る



## ポケットサイン 地域ポイント

お店で使えるポイントを活用し、  
地域の経済活動を活性化



## ポケットサイン アンケート

一人一票が保証された上での  
正確な民意調査ができる



## ポケットサイン お知らせ

自治体の広報誌やお知らせなど、  
情報の伝達をデジタル化



## ポケットサイン タクシー利用券

タクシーの福祉利用券の管理・利  
用をデジタル化



## ポケットサイン 健康ウォーク

歩数計と連動したランキング  
表示などで住民の健康増進



## ポケットサイン コミュニティ

自治会などクローズドな  
コミュニティ活動運営を効率化



## ポケットサイン フードスクーポン

地域の店舗のお得なクーポンを住  
民に配布・利用管理ができる



## ポケットサイン ボランティア

ボランティアの周知や参加者募  
集・当日管理などのデジタル化



## ポケットサイン ボランティア主催者

ボランティアの周知や参加者募集・  
当日管理などのデジタル化



## ポケットサイン 休日保育

休日保育の保育利用申請・予約を  
本人確認の上で管理できる



## ポケットサイン 受付

イベント運営や当日の参加有無の  
管理をデジタル化



## ポケットサイン インフラ通報

街のインフラ不具合の報告の  
簡素化・管理をデジタル化



## ポケットサイン 入退管理

正確な情報を元にした建物への入  
退の管理をデジタル化



## ポケットサイン 所属証明

会社やコミュニティへの所属につ  
いて申請・承認の管理が行える

子育て支援、ごみカレンダー、  
個人宛通知なども開発中。

他社によるミニアプリ開発も可能です。  
お気軽にお問い合わせください。

# 導入形式のご紹介

plan A

plan B

plan C

パッケージ形式

OEM 形式

ミニアプリ提供形式

自治体公式アプリとして  
ポケットサインを導入する

OEM 版で自治体オリジナル  
アプリとして導入する

別のアプリにミニアプリの  
機能を導入する

 **こんな方におすすめ** 

費用と導入までの期間を抑えて  
アプリを提供したい

 **こんな方におすすめ** 

自治体オリジナルアプリとして  
やりたいことを詰め込みたい

 **こんな方におすすめ** 

既存のアプリにミニアプリ機能を  
追加搭載してパワーアップさせたい

 宮城県

 境町 (茨城県)

 熊本市

 宮崎市

 渋谷区  
Shibuya City



渋谷区防災アプリ



ポケットサイン  
防災

※アプリ画面はリニューアル前の実際の画面を掲載。(2025 年 7 月以降、順次リニューアルされます)

## 項目別の比較

|         | planA パッケージ形式                                                                               | planB OEM 形式                                                                                                                                                                     | planC ミニアプリ提供形式                                                                                |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 概要      | 自治体公式アプリとして<br>ポケットサインを導入                                                                   | OEM 提供を行い自治体<br>オリジナルアプリとして導入                                                                                                                                                    | 別のアプリにミニアプリの機能を導入                                                                              |
| アプリアイコン |  ポケットサイン |   オリジナルで作成 |  既存アプリのもの |
| 費用      | ◎ サービス利用料のみ (安価)                                                                            | △ カスタム費用発生<br>要件に合わせ開発                                                                                                                                                           | △ カスタム費用発生<br>既存サービス接続                                                                         |
| 導入期間    | ◎ 1 ~ 2 か月間でローンチ                                                                            | △ 3 ~ 5 か月間でローンチ                                                                                                                                                                 | △ 3 ~ 5 か月間でローンチ                                                                               |
| サービス集約  | ◎ 既存サービスやアプリ<br>などを集約できる                                                                    | ◎ 既存サービスやアプリ<br>などを集約できる                                                                                                                                                         | △ 別アプリの仕様に依存する                                                                                 |
| カスタマイズ  | △ 既存活用の為、個別対応不可                                                                             | ◎ E メール登録追加等<br>個別対応可能                                                                                                                                                           | ◎ 機能を移植するので<br>既存サービスが対応                                                                       |
| 新地創交付金  | ◎ Type-1、2、3、X で実績あり                                                                        | ◎ Type-1、X で実績あり                                                                                                                                                                 | ◎ Type-1 で実績あり                                                                                 |

01

初回相談



02

ヒアリング  
現状分析

03

提案書 / 見積書



04

予算調整



05

契約締結



## 導入までの支援例

### ● 交付金の申請サポート

新しい地方経済・生活環境創生交付金（旧デジタル田園都市国家構想交付金）にて「Type-X,1,2,3」全ての採択事例あり。弊社で用意している申請フォーマットを元に申請書類の作成サポートを行っています。

### ● 避難訓練の有償サポート

マイナンバーカードを活用した避難訓練は、大規模避難訓練や原子力防災の避難訓練などを含め実績多数あり。  
2024年度は10の自治体で実施。避難訓練用の環境と利用ガイドもご用意があります。（サポート内容により別途お見積もりさせていただきます。）

## その他

### ● ご希望の方には、トライアル提供も可能です

## 各種ご案内

ポケットサインでは、DXや補助金活用、防災、避難訓練などに関する自治体向けお役立ち情報やマイナンバーカード、公的個人認証について最新ニュースに関する情報を様々な形で発信しています。ぜひチェックしてみてください。

## ブログ

### マイナ活用.com

マイナンバーカードを軸に暮らしを便利にするメディア



アクセスは  
こちらから



## SNS

X 公式アカウント



@pocketsign\_inc

facebook 公式アカウント



## 会社概要・お問合せ先

社名 ポケットサイン株式会社  
所在地 東京都新宿区大京町 22-1  
グランファースト新宿御苑 1F  
設立年月 2022年8月  
お問合せ contact@pocketsign.co.jp

公的個人認証サービス  
「プラットフォーム事業者」として  
主務大臣の認定を取得

ISMS (ISO/IEC 27001)、ISO/IEC 27017、ISO/IEC 27701

各種情報セキュリティ認証を取得。

お問い合わせは  
こちらから



# 宮城県で100万人以上(県民の40%)に使われています



宮城県  
人口 222 万人  
2025 年 4 月時点



## 利用者が増えたことによる効果

- 利用者が利用者と呼ぶ状態で自然と増えるように
- 地元企業からの連携提案など地域アプリとして今後の可能性が広がっている
- 普及させる→活用の幅を広げるへとアプリの運用フェーズが変わった

## 具体的な活用方法

防災スーパーアプリとして、県民の暮らしと命を守る

### 始まりは東日本大震災

「被災者の所在や必要物資の把握が全くできなかった」という反省から避難所運営における課題を解決する防災アプリの導入を決定。広域で取り組むことが重要であることから、県下の 35 市町村で使えるように提供開始。

※原子力防災アプリは女川原発周辺 7 市町



みやぎ防災



原子力防災

### 普及しなければ意味がない

アプリを作っても、住民に使ってもらわなければ意味がないため、期間中にアプリをダウンロードして登録した全員に、県内での買い物等に使える「みやぎポイント（みやポ）」を 3000 ポイント配布するキャンペーンなどの施策を行うことで登録者数は 100 万人を突破。



みやぎポイント

### 平時利用できるアプリがあるから、防災アプリがもしもの時に機能する

暮らしで使えるアプリを搭載する防災スーパーアプリとすることで、日頃から使われる自治体アプリに。



子育て支援



みやぎ健康ウォーク



宮城県からの  
お知らせ



アンケート



脳トレ

### 地域の企業もミニアプリ開発が可能

周遊施策として昨冬に実施した「みやぎまるっとポイントラリー」では、(株) ジェイアール東日本企画様による企画で地元企業の方がミニアプリを開発し、参加者は想定 2 倍に。

※みやぎまるっとポイントラリーは期間限定の提供により終了しております



みやぎまるっと  
ポイントラリー



事例インタビュー記事も公開中



# 登録者のうち4割が日常的に利用しているアプリです



熊本市  
人口73万人

2025年8月時点  
ダウンロード数 約3万

月間利用率 **40%**



## 月間利用率が増加したことによる効果

- **活動募集の円滑化**  
自治会などがアプリで気軽に募集できるようになり、参加者も集まりやすくなった
- **共助の定着**  
防災訓練や見守りなど、日常の助け合いが広がり、地域のつながりが深まっている
- **参加意欲の喚起**  
特別体験会が当たる抽選会に1,000件以上の応募があり、楽しみながら地域に関心を持つ人が増えた

## 具体的な活用方法

いざという時の“お守り”として、日常から備える **くまもとアプリ**

### 熊本地震での教訓を活かして

2016年、熊本地震の甚大な被害から明らかになった課題（避難所受付の遅れ、避難状況の把握不足）。その教訓を踏まえ「くまもとアプリ」を2024年に提供開始。



くまもとアプリ

### 災害時の避難所運営を効率化

アプリやマイナンバーカードでの受付により、入所スピードを大幅に改善。実証では、アプリでの受付で**1人あたり平均4.6秒（紙：70秒→約15倍の効率化）**を実現。避難状況を市のシステムとリアルタイム連携し、混雑やニーズを即時把握。「紙名簿の集計・更新」から解放され、職員負担を大幅に軽減。



防災

### 平時から“共助”を育てる

地震から9年が経ち、地域コミュニティのつながりは弱まり、担い手不足も顕在化。熊本市では、地域活性化のためにボランティア活動や地域活動を価値に転換。募集する地域活動は300件以上。また、アプリで貯めたポイントを活用し、抽選ではしご車乗車体験や動植物園の飼育員体験などを提供。1,000件以上の応募が集まるなど、利用者が楽しみながら地域に関わる仕掛けに。



ボランティア 地域ポイント

### 平時利用できるアプリも続々と搭載

市内の歴史文化施設を謎解きしながら周遊できるアプリも独自のミニアプリとして開発。また、市内運行バスの状況を確認できるサービスをアプリ内で確認できたり、イベント情報が確認できる機能がある他、平时に役立つサービスを案内。



アンケート



熊本謎旅



バス運行



イベント情報

# 宮崎市では複数の既存アプリも集約して窓口として活用



**SMILE MIYAZAKI**  
- 宮崎市公式アプリ -

**宮崎市 人口39万人** (2025年9月時点)



- 市民のニーズに合わない情報提供や点在する行政サービスが課題だったため、一つにまとめることを目的にリリース
- JPKI による本人確認を活用し、災害対応のデジタル化に取り組む
- プレミアム付商品券のオンライン受付をアプリに限定するなど、独自のキャンペーンを実施しダウンロード促進

## マイナンバーカード登録で使えるアプリ



## メールアドレス登録でも使用できる



# 渋谷区では防災アプリの中にポケットサイン防災を搭載



**渋谷区防災**

**渋谷区 人口24万人** (2025年8月時点)



- 既存の防災アプリに避難所チェックイン機能・公的個人認証機能を追加しアップデート
- アプリの中に組み込まれるため、ユーザー導線を重視した設計
- 防災システムとポケットサイン防災の連携により、職員は防災システム上で避難所に関する情報を一元的に把握

